広報
さめがわ

昭和53年
2月号
No. 290
編集兼発行
鮫川村総務課
協町佐藤印刷所



花ひらくこの青春に幸あれ!!

今年成人の祝福をうけた若人は134名で、1月15日山村開発センター大集会室でにぎやかな式典と祝賀会が行われました。

会場はきらびやかな装いと華やかな話声に満たされ、花園のような雰囲気に包まれましたが、式典は厳粛に進められ、石田村長から代表の本郷栄君に成人証書と記念品が贈られ、一同は一人の社会人になった自覚と責任感をしっかりと胸に刻みました。

感激をこめて我妻和代さんが誓詞を朗読し、青砥武彦君が成人になった感想を発表して万場を傾聴させ、関根公民館長のあいさつで閉式となりました。

式後の祝賀パーティーは青年会の発想でユニークな出しものがあり、一段とにぎやかでした。

- ⊙ 1日　交通事故ゼロ、歩行者優先の日
- ⊙ 5日　交通事故相談日（自河地方行政連絡室 TEL 白河(2)1550）
- ⊙ 2月28日～3月13日　春の全国火災予防運動
- ⊙ 第3日曜日は『家庭の日』

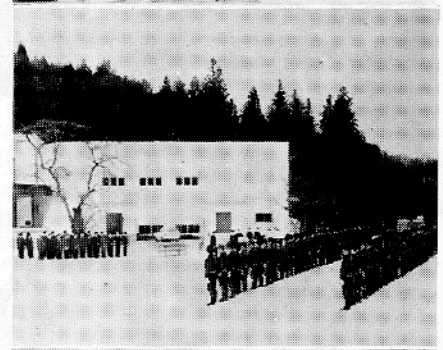
今月の人口

（2月1日現在）

人口	5,849	（＋2）
男	2,933	（－3）
女	2,916	（＋5）
世帯	1,159	（　0）

粉雪飛ぶ中で 勇壮な消防出初式







1月6日粉雪が舞い大地白一色の中で、鮫川村消防団の勇壮な出初式が山村開発センターを中心に実施され、村民の信頼感を高めました。

村政の歩み(34)

きびしい財政事情下の予算編成

村長　石田卯子八

国の昭和五三年度予算は只今開会中の国会で審議されており、県の予算も知事査定を終ったようです。

市町村の予算はいま編成中のところが多いと思いますが、国県市町村を通じて、新年度予算の特質は何れも借金財政で賄われる率が高いということで盡きるかと思います。

国も歳入の基幹である税収が伸びないのに反し、行政需要は高度化し、景気浮揚のための政策的支出は相当思い切った拡大を必要とするため、国債の増発は止むを得ない措置といえます

県を含む市町村等の地方財政も五三年度は三兆五〇〇億円の不足と計算されております。系統町村会はこの際こそ地方交付税率を三二%から六・五%引上げ、交付税枠を増額すべしと強く要請してきたが、これは自治・大蔵両大臣の折衝で実現せず、石油新税の交付税対象化も地方団体金融公庫政府資金の充当率を高めるなどの措置がとられることになりました。

これらの措置によって町村の最大の財源である地方交付税は一応確保されることになりましたが、一時的び縫の策であることには変りがなく、交付税の本質がかわりつつあることに注目しなければなりません。

即ち地方交付税それ自体は一般財源であって、借金の色彩はないわけであるが、国の段階では不足額が借入金で充当され、½の償還金が国庫負担でルール化されても残りの½は将来にわたって償還の義務を負うものであるから、実質的には借金の要素を含むものというべきであります。

財源の貧困な市町村はこのような財政事情の下で予算編成を進めるのであるから、従来にも増して義務的経費特に人件費の膨張は抑えなければならず、法令外の負担となる数多い補助金等も改めて見直し選別が必要であります。

経常的経費の節減を図らなければ住民の行政需要に応える建設、福祉、産業振興などの行政水準を維持することすら困難となる事態の認識が望まれるわけであります。

おめでた

一月

遠ケ竜　森栄美子　父森　義美
大塩　藤田　愛　父藤田文雄
青生野　武藤和江　父武藤　明
滝　須藤信二　父須藤美喜男
落合　我妻仁子　父我妻佐利
鍬木田　須藤美幸　父須藤光夫
官澤　矢吹靖弘　父矢吹秋男
前田　前田明香　父前田　隆
岩野草　根本和男　父根本栄一
岩野草　根本寿光　父根本栄一

おくやみ

一月　年令　世帯主

二反田大平三郎　57才大平啓子
青生野生田目実香　1才生田目スミ
巡ケ作野島東洋男　75才野島守男
折戸阿久津リン　62才阿久津正男
本坂藤田牧吾　67才藤田さと
青生野藤田清治　26才
折戸阿久津芳郎　82才阿久津義郎
小名澤有賀直治　70才有賀久男
浅屋敷鈴木昭松　50才鈴木カツ
内ケ竜佐川モヨ　92才佐川政治

石川局電話番号変更

三月八日（午前零時）から石川局のうち四局の番号はすべて変更になります。お手数でも案内係―一〇四（地集〇〇一〇四）におたずねの上おかけ下さい。

石川電報電話局

ご存知ですか！
＜生活援助資金貸付制度＞

このことについては、昭和五〇年の二月と四月に回覧文書や広報紙でお知らせするとともに、各民生委員を通じて広くその利用をおすすめしております。この制度は村が鮫川村社会福祉協議会に五〇万円の原資金を助成し、福祉協議会の事業として貸付を行っているものです。

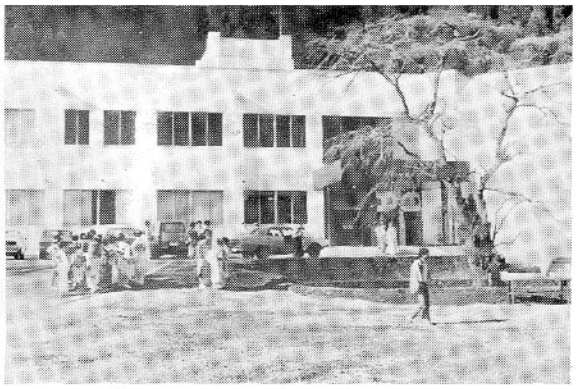
この制度は、村内に居住する低所得者を対象として、必要な生活資金の貸し付けを行い、その世帯の生活の維持と安定を図ることを目的として実施しています。

一、貸付限度額　一世帯五万円以内
　但し高額医療費等で特に必要と認めるときはこの限りでない。
二、貸付期間　一年以内
　但し特に認めるとき二年以内
三、貸付金は、無利子、無担保とする。

手続は簡単です、借入希望の場合は、地区担当民生委員に申し出て下さい。

なおくわしいことは事務局（住民課内）におたずね下さい。

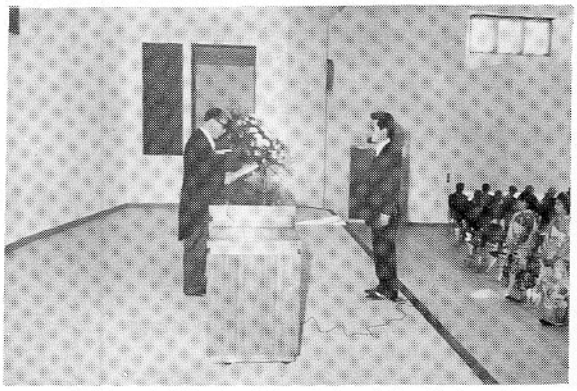
鮫川村社会福祉協議会



ま新しい開発センターは、晴れて成人となる若人に適わしい殿堂



ロビーでは揃いのハッピ姿の青年会員たちが景気のよい出迎ぶり



緊張した空気が一瞬流れて成人代表が直立不動で成人証書をうける

小さな善意に大きな感謝!!
＝たすけあいの善意実る＝

昨年の暮れに、村内の恵まれない世帯や長期入院者、その他福祉施設に入所している方々に歳末たすけあいとして見舞金を贈りましたが、村社会福祉協議会に続々と礼状が届いています。その中からある福祉施設に入っている生徒からの礼状を紹介します。

拝啓

寒くなって参りましたが、鮫川村社会福祉協議会のみな様お元気ですか。

私はいつも元気で学校へ通っています。

この前は歳末助け合いの見舞金を送って下さって有りがとうございました。私はとってもうれしかったです。大事に使わせていただきます。

私は耳が聞こえないので、家から遠く離れた聾学校へ寄宿舎から通っています。寄宿舎の生徒は高校生だけですが四四名生活しています。

これから寄宿舎の行事として、クリスマス会が有り二五日から冬休みになりますので二四日は全員帰省します。

これからもっともっと寒くなりますので特に風邪を引かないように先生方から注意されておりますどうぞ役所の皆様も、お体に気をつけてお仕事をして下さい。

本当にどうも有りがとうございました。

社会福祉協議会の皆様へ

さようなら

（原文のまま。　この礼状は昨年一二月一五日届いたものです）

―国民年金―
老令（通算老令）年金の現況届は忘れないで提出しましょう

五二年二月一五日現在の老令（通算老令）年金の受給者（同年二月一五日以後に失権した者、支給停止となった者は除く）は、二月一五日までに、老令（通算老令）年金の現況届を提出することになっています。

あたたの所に送付になった現況届用紙を、鮫川村役場住民課へ提出し、証明を受けてから発送してください。もし提出しない場合は、差止になりますので必ず提出してください。

春の全国火災予防運動

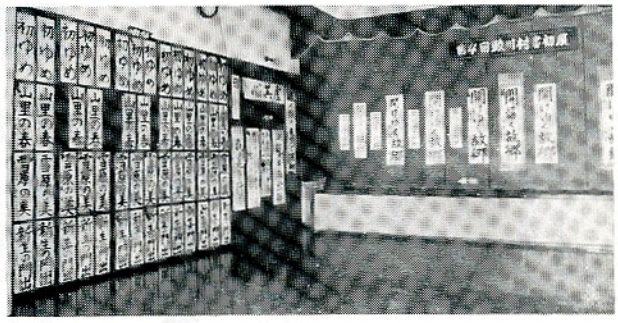
―２月28日～３月13日―

“使う火を消すまで離すな目と心！”

◎春は山火事の一番多い時期です。

一、タバコの投げ捨てはしないこと。
二、たき火の跡始末は完全に消すこと。
三、山で火入れをする時は許可をうけること。
四、子供の火遊びはやめること。
五、家をるすにする時は、火の元の安全を確かめること。

白河消防署鮫川出張所



長井久山さんら金賞受賞

第４回鮫川村書初展

公民館の主催で開かれた第４回鮫川村書初展は、１月26日から６日間村内小中学校児童作品と共に展示されました。審査の結果は次のとおりです。（金賞受賞者）

○一般（課題の部）　長井久山
○一般（自由の部）　高木もと子
○小学校の部　生田目利雄（青生野）蛭田浩幸、松岡幸男（渡瀬）関根則子、市川尚子、大竹美智子、緑川教子（西山）水野和子（鮫川）
○中学校の部　小松イチ、芳賀里美、芳賀美佐子

新入学の準備に　このような心くばりを

いよいよ四月から新学期、お子さんが元気に一年生に入学するのはまことに楽しいものです。特に初めての場合は一月ごろからそろそろ店先のランドセルに目が向きそわそわしたり、一年生には程遠い学用品を買い込んだりするものです。

あまり高級なものを小さいうちから与えるのも考えものですし、高学年用のものを一年生が持っていても使い方を知らず、本当に使う頃になると学用品に対する感激もうすれてしまい逆効果です。やはり学年相応の品、数をそろえたいものです。

学用品＝いろいろな考え方はありますが、学習ノートは国語、算数、理科の三種各一冊があれば十分。一年生用のマスの大きなものを選びます。鉛筆はＢか２Ｂのかきかた鉛筆が一ダース必要です。ＨＢなどはもっと大きくなってからのもので、柔らかい鉛筆でシンを折りながら紙と鉛筆のふれ合いを自然とおぼえていきます。消しゴムはよくなくすものですから二～三個買っておき、なくなったらその都度一個ずつ与えます。鉛筆入れはしっかりしたものを選びたいものです。

クレヨンやクレパス画用紙などは学校でまとめて同じ品物を使うようですから、もし買うとしたら家庭での勉強用と考えた方がよいでしょう。

ランドセルは高価なものが必ずしもよいとは限りません。小さい子供が背負うのですから軽くてじょうぶなことが選び方のポイントです。

勉強机もいちじのようにゴテゴテと付属品の多いものは少なくなってきましたが、テーブル面から上についている書棚などは取り外せるものを選んだ方が無難でしょう。四、五年生になると書棚などはむしろじゃまになったりするものです。

（日本広報協会）

卓球教室と第２回卓球大会参加者募ります

村公民館ではつぎにより卓球教室と第２回卓球大会を開催しますので多数参加されるようお知らせします。

記

《卓球教室》

１．期日　２月22日（水）から２月24日（金）までの３日間。
２．時間　午後７時より９時まで。
３．場所　鮫川高校体育館。
４．資格　村内の在住者で、学生、生徒を除く。
５．指導者　鮫川村卓球愛好会員。
６．その他　参加料は無料です。当日会場で受付ます。

《第２回卓球大会》

１．期日　２月26日（日）
２．時間　午前８時45分より。
３．場所　鮫川高校体育館。
４．資格　村内の在住者で、高校生以上の者。
５．チームの編成
(1) 団体戦男子４名以上、女子２名以上
(2) 個人戦
ア．男子少年の部・成年の部・壮年の部
イ．女子少年の部・青年の部
６．申込　氏名・年令を２月24日（金）までに村公民館へ申し込んで下さい。（電話でも可能）

人事

（一月一日）

採用
主事　白坂勝徳（福祉年金係）

異動
農政係　山形賢一（税政係）、税政係　佐藤文夫（消防防災係）、学校教育課　舟木利次（道路管理センター）、同　斉藤一郎（給食センター）、道路管理センター　藤田正美（診療所）診療所　高木市郎（学校教育課）、給食センター　南条仁孝（学校教育課）、同　鈴木市悠（同）